

温暖化と食料

…1日で100名の方と対話

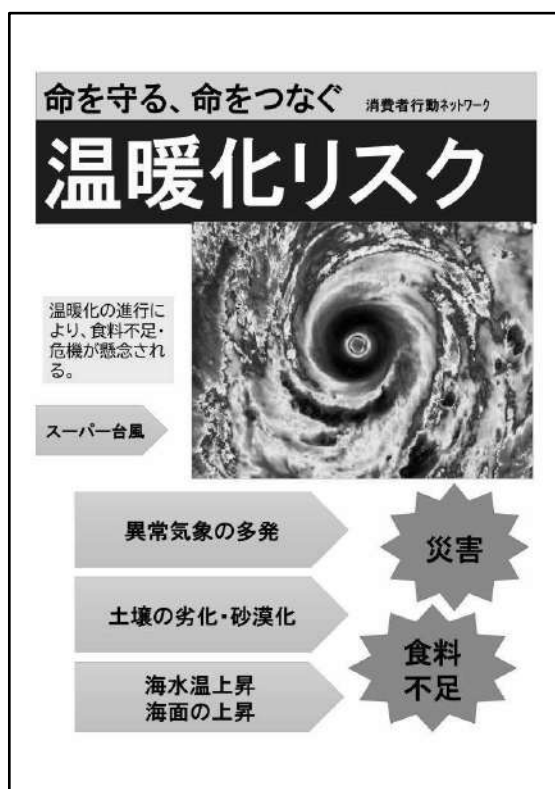
CANは、11月9日(土) 11/9 名古屋市消費生活フェアにブースを出展しました。ブースでは「命を守る、命をつなぐ」を基本テーマに「温暖化と食料」について問いかけました。ブースではパネルの展示、対話アンケートを実施しました。対話アンケートでは100名の方と対話することができました。

パネルで呼びかけたのは<温暖化がそのまま進行すると世界的な食料不足になる。食料自給率の低い日本は、大変なことになる。すでに「今、世界では9人に1人が食料不足に苦しんでいる」。日本においては、災害の多発で農作物に甚大な被害が出ている。離農者が相次ぎ農林業は衰退するばかりだ。今こそ、農林業のもつ多面的機能を見直すと同時に「国民を飢えさせない」「命を守る」「食料安全保障」を推進すべきだ。>

対話アンケートにおいては、「飢え」「食品ロス」「温暖化対策」について設問を設け対話しました。「飢え」については戦争や戦後の食料難、伊勢湾台風の体験が家族から引き継がれていました。



名古屋市栄 オアシス21にて名古屋市消費生活フェア:2019年11月9日(土)10時~16時開催。



温暖化の危機 IPCC警告と提案

IPCC = 国連 気候変動に関する政府間パネル

「1.5°C特別報告書」2018年10月

産業革命以来、地球の平均気温は、すでに約**1°C**上昇している。

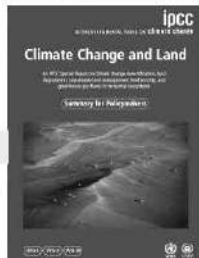
脱炭素化にとりくめば1.5°Cの上昇にとどめ、リスクを小さくすることは可能である。



「気候変動と土地特別報告書」2019年8月

陸上の平均気温の上昇は、世界の平均気温の倍上昇している。

2050年に穀物価格が最大23%上昇する可能性がある。食料不安、飢餓をもたらす。



「海洋・雪氷圏特別報告書」2019年9月

海面が今世紀末までに最大1.1m上昇。今世紀末には魚の収量は20~24%減。

海外に依存する私達の食

▲海外から食料を買えなくなったら？

▲円が暴落。買い負けしたら？

▲世界的な不作になったら？

▲紛争の発生？

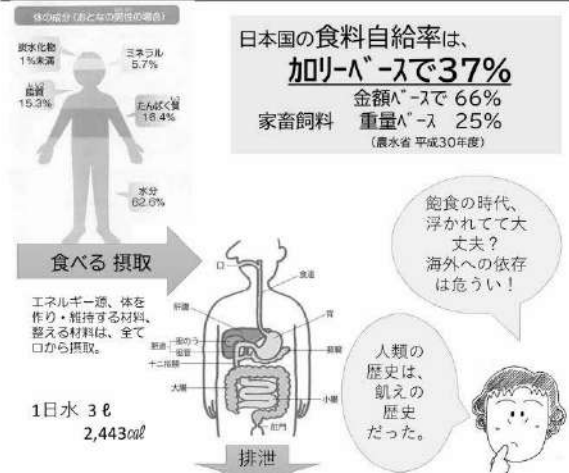
注意
・鶏卵や肉類の生産は、海外の飼料に大きく依存している。

食料の品目別自給率(重量ベース) 2014年度



命を守る、命をつなぐ 消費者行動ネットワーク

私達が生きるためには、 食料と水が必要です。



命を守る、命をつなぐ 消費者行動ネットワーク

「食料安保」 しょくりょう あんぽ

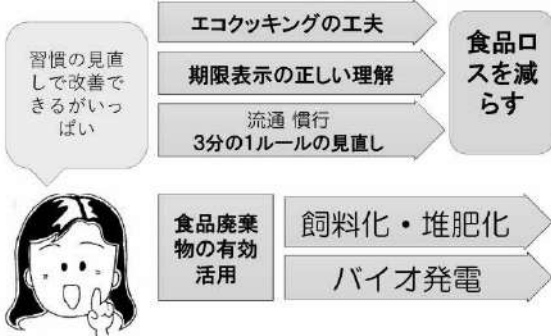
- 「商品生産」だけの視点、脱却を
- ◎ 「国民を飢えさせない」「食べ物」「水」の確保の役割
- ◎ 国土保全の役割
- ◎ 生物の多様性 ... etc

専業農家だけでなく兼業農家も役割がある

多機能性を評価し維持、支える仕組みを

年金生活者の7割以上が「生きがい」と「健康づくり」を

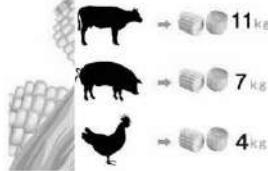
日本で 食品ロス 1年間 643万t 発生



ステーキと温暖化

食肉の生産には、大量の穀物と水が使用されます。「ステーキ」は、温暖化を促進する、との声が広がっています。

肉 1 kgを生産するためのエサとなる飼料用穀物



地球温暖化の原因 CO2を大量排出しているのは



石炭火力、製鉄所が大量排出源。

CO2を大量排出する石炭火力発電所。先進国では廃止計画が進行中。

日本では、新設・増設計画が目白押し。巨額の投資がムダ(座礁資産)になるリスク大。



順位	事業者名	事業内容	事業名	CO2排出量 (1000トン)	日本全体の割合 (%)
1	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	2,429	3.8%
2	JFEスチール株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	2,027	3.4%
3	JFEスチール株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	1,785	3.1%
4	新日本製鐵株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	1,745	3.0%
5	新日本製鐵株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	1,610	2.8%
6	新日本製鐵株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	1,543	2.7%
7	新日本製鐵株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	1,310	2.3%
8	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,279	2.3%
9	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,227	2.2%
10	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,187	2.1%
11	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,169	2.1%
12	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,165	2.1%
13	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,118	2.1%
14	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,106	2.0%
15	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,047	2.0%
16	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	1,010	1.7%
17	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	982	1.7%
18	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	979	1.7%
19	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	946	1.7%
20	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	902	1.6%
21	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	893	1.6%
22	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	890	1.6%
23	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	837	1.5%
24	JFEスチール株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	837	1.5%
25	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	803	1.5%
26	JFEスチール株式会社	鉄鋼製造	常陸川 (茨城)	796	1.5%
27	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	790	1.4%
28	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	775	1.4%
29	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	742	1.3%
30	中部電力株式会社	火力発電	常陸川 (茨城)	724	1.3%

「命を守る、命をつなぐ」アンケート結果

1. あなたは「飢え」の怖さを知っていますか？

- a. 体験しその怖さを知っている 11%
- b. 話を聞いて知っている 63%
- c. 考えたこともない 26%

伊勢湾台風、戦後の食料難の体験、祖父母から戦争の話聞いたなど。

2. 今、世界で9人に1人が「飢え」に苦しんでいることをご存じでしたか？

- a. 知っていた 48%
- b. 今日、始めて知った 52%

3. 食品ロスを減らすために、どんな取り組みをしていますか、しようと思いませんか？

日本では、食べられるのに捨てられる食品ロスが、1年間で647万t 発生しています。

- a. たくさん買い過ぎない 73名
- b. 食材は、使い過ぎない 69名
- c. たくさん作り過ぎない 70名
- d. 残さず食べる 72名
- e. まったく考えたことがない 1名
- f. その他 1名

4. 「地球温暖化の進行によって世界的な食料不足、危機の発生する」という IPCC の警告をどう思いますか？

- a. 大型台風や異常気象の頻発を考えると、地球温暖化対策に取り組まないととんでもないことになると思う。 83名
- b. 日本の食料自給率が低いのが心配だ。国民を飢えさせない、命を守る対策として、食料安全保障の推進が必要だ。 69名

- c. 森林は、温暖化の原因となるCO2 を吸収する。地球温暖化対策として森林を維持、拡充が必要だ。 70名
- d. 農林業の多面的機能(食料生産、治水、生物多様性、国土保全、温暖化対策)を評価し、その維持、拡充に真剣に取り組むことが必要だ。 57名
- e. CO2 を大量排出する石炭火力発電所をこれ以上増やしてはいけない。 56名
- f. 地球温暖化論は、科学者の予算欲しさのマヤカシだ。 5名

.....

食料自給率が 37% (カロリーベース) の日本。海外からの食料輸入がストップしたら!・・・日本国民は「飢える」こととなります。飽食の日本において「飢餓」を話題にするのはと思ったのですがブースを訪れた市民の方々は、対話に応じてくれました。

「飢え」について、自身が体験されたのは少数でしたが、「話を聞いて知っている」方が6割いました。戦後の食料難や伊勢湾台風の苦労が家族の方から伝えられていたのです。

戦争中、農家だったので自身は困らなかったけれど都会の方は大変だったと思う。着物を持って食料と交換に来られた。自分の家には着物が貯まったけれどと…。

「強い円」で世界中から食料を買いあさる時代は終わろうとしています。それどころか、気候変動、地球温暖化によって広範囲の耕地が劣化、世界的な食料不足の時代が始まろうとしています。日本においては社会的な要因「農林業ではメシが食えない」と離農が相次ぎ農林業は衰退する一方です。

農林業を「商品生産」だけでの視点で世界市場に放り込むのには無理があります。国土保全、食料安保の視点から制度設計し直し、維持継続できるようにすべきです。田畑や森林に人の手が入り維持・保全されること自体に意味がある

のです。あまつさえ「規制緩和」の名のもとに、農林水産業を多国籍企業に市場開放し、好き勝手に蹂躪させることは愚の骨頂です。

緑豊かな日本列島は、私たちの祖先達が数千年かけて造り上げてきたものです。この緑豊かな国土が今、荒廃しつつあります。「市場原理」万能で祖先の培ってきた国土を荒廃させてはいけません。

敗戦後、農林漁業の復興は、「国民を二度と飢えさせない」が基本でした。日本列島においては巨大地震の発生も予測されています。「食料安全保障」の推進が今こそ必要です。

戦争は、直ちに「飢餓」をもたらします。「バカな戦争を二度としない」と「平和国家」を目指してきた日本。東アジアにおける軍備拡張競争は深刻です。平和は相互理解と信頼によってこそもたらされます。米国の言い値で「高額な兵器」を買わされ、地域の軍事的緊張をいたずらに高めるのは愚策そのものです。

文責／CANレポーター大村昌宏



11/9 栄オアシス21

CANメンバー 1日お疲れさまでした!!